

玩具中心教育の提唱

(第四回世界教育聯盟會議に於いて)

日本代表 フレトベル館社長 高 市 次 郎

今夏米國のデンヴァー市に開かれた世界教育會議に出席せる日本代表の高市民より、大會の幼兒教育部會に提案し、玩具教育を高唱したる英語演説の概要約文である

フレトベルは其の名著「人の教育」の中に、幼兒を「自己的能動的、創造的生物」と道破いたしました。幼兒は持つて生れた活動本能を何等かの形に於いて外部に發動せしめなくつては一刻も生活することが出来ないであります。そして此の活動本能は遊びといふ形を以て外部に表現せられます。遊びは幼兒の生活と密接不離な、否、幼兒の生活そのものであり、生活の全部であります。例へば、大人が何等か實用的目的の爲めに行ふ事——掃除をしたり、本を讀んだり洗濯をしたりなどしても幼兒は悉く、遊びとして意識し且實行いたします。従つて大人の世界に於ける「物の價值」といふものは、幼兒の世界に於いては少しも效果を持つてゐないのであります。大切な掛軸に墨を塗つたり、張りたての障子を破いたりして、幼兒は一向平氣であります。これ、幼兒の世界に於いて、一切が遊戯化して意識せらるゝが故に他ならないのであります。であるから、幼兒の身心を伸び行くがまゝに完全に發達せしめんが爲には、その活動本能の出口たる「遊び」に對し、充分な機會を提供することが必要であります。

幼児の「遊び」は身體的なものと、精神的なものに二大別いたされますが、此の内、精神的な「遊び」に對しては、特に適當な「道具」が必要であります。しかも、その道具たる、何等の拘束なく、幼児が自ら進んで自由に使用し得るものでなければなりません。言ひかへれば、與へる道具と兒童の興味とが、ぴつたりと一つに結び附いたものでなければなりません。これ即ち「玩具」の觀念に他ならないのであります。大人の生活必需品たる道具をも、幼児は之れを玩具として取扱つてゐるのは、吾人の日常目睹する所であります。

從來、幼稚園で兒童に與へてゐる玩具は、玩具的性質に於いて缺ける所が尠くないのであります。例へばフレイベルの恩物の如きも、フレイベルの理想通り用ひられないで、他動的、注入的、形式的、部分的に使用せらるゝことが多いのみならず、恩物本質から云つても興味が足りませぬ。たとへば鹽なり砂糖なりで味が付けてない肉のやうなもので、喰べれば滋養になります。子供はこれを喰べませぬ。モンテッソリー玩具に於いては、此の傾向が一層甚だしいのであります。例へば、生の肉を滋養になるから喰べよと強ひるやうなものであります。夫れはあまりに兒童の自然の興味から遠ざかつて居ります。かくの如きは、幼児にとつて迷惑なる負擔たる以外の何物でもないでせう。幼児はそれによつて身心の發達に資せざるのみならず、却つて消極的結果を招來するであらうと思はれるのであります。

近い時、小學校低學年級に於いて「合科教授」が提唱せられ、獨逸の如きは國法を以て小學初年級に之れを施行せられて居ります。日本では小數の特殊學校を除く他、未だ實行の域に達して居りませんが教育思想上、此の方法は甚だ進歩した。價值あるもので、早晚世界の教育界に高い評價を以て邀へらる

こと必定であります。

己に小學校の低學年に於いて合科教授が行はれ得ると致しませば、まして幼稚園に於いては一切を玩具に結合し、之れによつて幼兒の精神を多方面に發達せしむべきことは、固より當然の事と言はねばなりません。即ち余輩は幼稚園の教育は遊戯を中心とし、しかも精神的遊戯は一切玩具を通して之を行はんとことを提唱するものであります。その原理は極めて單純明瞭である。即ち遊戯は幼兒の自發的能動的活動の對象であり、興味を以て追求する唯一の生活であります。而して、玩具は精神的な遊戯への唯一の道具であり、對象でありますから、そして余輩は更に進んで小學校の低學年に於いても、少くも或る期間は日本に於ける尋常三年迄玩具を中心とする一種の「合科教授」を行ふべきことを主張するものであります。

然らば「玩具による教育」の具體的實行方法如何？

これ甚だ重大にして且つ困難なる問題であります。余輩は茲に二、三、試案の持ち合せが無い譯ではないが、未だ到底貧弱にして本席に於いて發表するの域に達して居りませぬ。惟うに、此の問題は頗る多事多難なるもので、到底一人一家、否、一國を以ても能くし得るものではありません。世界の教育家が協力一致し、互に有無相通じ、多年實驗に實驗を重ねて、始めて完成し得るものであります。利刃は一面危険を伴ふ如く、「玩具による教育」も頗る高き價值あるものではあるが、一步を過れば其の効果なきのみならず、却つて非常な危険に陥る恐れがあります。特に慎重なる用意を以て、此の問題の研究に當る必要があります。夫れで世界各國の有爲なる教育者の會合に於いて、余輩は敢て此の問題を提出し玩具中心の教育法に對し國際的協力を翹望して罷ませぬ次第であります。